2019年12月10日、大阪eスポーツ研究会は第3回 研究会を開催し、59名の方にご参加頂きました。 研究会ニュースvol.4では、その内容についてご報告いたします。

1 大阪eスポーツ研究会とは

株式会社スポーツタカハシ 大川 慎一



今回の研究会が初参加の方に向け、大阪eスポーツ研究会の目的や趣旨を改めてご紹介しました。

大阪eスポーツ研究会は、大阪におけるeスポーツの普及・発展に寄与するため、2019年5月31日に発足しました。

eスポーツを盛り上げるには、eスポーツに関わる事業者を増やす必要があると考え、有識者や関係機関等にご協力を頂きながら、eスポーツ事業に取り組む方を支援していきます。

2 eスポーツに絡む法的諸問題

木村·永田法律事務所 永田竜也先生

木村·永田法律事務所 弁護士·基本情報技術者 永田竜也先生に「e スポーツに絡む法的諸問題」 と題してご講演頂きました。

永田先生は、民事事件等を中心に弁護士としてご活躍される一方、EVO ジャパン 2019 のサイドトーナメントの餓狼伝説スペシャルでベスト8と、eスポーツでもご活躍されています。大阪弁護士会eスポーツ問題研究所にも所属し、共著「eスポーツの法律問題 Q&A」を上梓されました。eスポーツに大きく関係する3つの法律について、まず、ノーアクションレター(※1)や、具体例を挙げ、目的や内容、違反した場合の罰則、抵触しないための考え方等を説明されました。

- ●ゲームメーカーは、自社製品のeスポーツ大会に 景品を出せるのか?
 - ⇒不当景品類及び不当表示防止法 (景表法)
- 大会で参加費を取ることができるか? 参加費は 賞金に充当できるのか? ⇒刑法第185条(賭博罪)
- 施設運営において、ゲームセンターと同じ規制を受けるのか? →風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行令(風営法)

続いて、eスポーツに関係してくる他の法律として、著作権(例:イベントで使用する際のゲームの著作権は?)、興行場法(例:eスポーツ大会で使用する会場は対象になる?)、入管資格(例:日本人選手が海外で賞金を得るときは?海外選手が日本で賞金を得るときは?)を挙げられ、eスポーツには、多くの法的諸問題が関わっていることを強調されました。

参加者からは活発に質疑があり、永田先生が丁寧に解説されました。法的諸問題は、今後もアップデートされると予想されます。大阪 e スポーツ研究会では、随時、情報発信していく予定です。

※1 ノーアクションレター制度 (法令適用事前確認手続)

民間企業等国民が、その事業活動に 関係する具体的行為が特定の法令の 規定の適用対象となるかどうか、あ らかじめ当該規定を所管する行政機 関に確認し、その行政機関が回答を 行うとともに、当該回答を公表する 手続

出典:消費者庁 HP



木村·永田法律事務所 永田竜也先生

3 eスポーツチームの運営について

DetonatioN Gaming CEO 梅崎伸幸氏

日本eスポーツ界のパイオニアであり、日本eスポーツ界を牽引する、DetonatioN GamingのCEO 梅崎伸幸氏より、チーム運営に関して、「●収入源、●スポンサー、●運営体制、●課題」についてご講演頂きました。

日本に80以上あると言われるeスポーツチームのうち、黒字で運営されているのは、わずか数チームです。創業以来、黒字経営・無借金経営を続けるDetonatioN Gamingの収入源について、具体的な経営上の数字を交えて、ご説明頂きました。2017年以前は、スポンサー料が大部分を占めていましたが、2018年以降、プロリーグからの支援金や賞金が出始め、また、イベント出演料が上がるなど、スポンサー料以外の収入が増加したことで、スポンサー料が占める割合は、ウェイトは大きいものの小さくなる傾向にあります。

スポンサーに関しては、スポンサーが求めていることとして、「企業のブランディング・実益」「eスポーツの知識・人脈」を挙げられました。若者のテレビ離れが進む中、ゲームをする割合は高まっており、大手企業にとってeスポーツは無視できない存在となっています。

では、DetonatioN Gamingはどのような体制なのでしょうか。 運営体制について、CEO/ゼネラルマネージャー/マネージャー/監督/クリエイティブ/広報/

営業等、それぞれの役割をご紹介頂きました。

チーム運営における課題としては、「eスポーツの知見を持つ人材の不足」「資金不足」の2点を挙げられました。eスポーツの知見を持つ人材の不足という点については、eスポーツ業界に飛び込んで経験を積むことの重要性を述べられました。資金不足に関しては、スポンサーが付かなければ資金が不足してしまうため、スポンサーに対しアピールする人材の不足が資金不足に繋がっている側面あることを指摘され、より一層、踏み込んでいくことが必要だと述べられました。

講演の最後は、今後のDetonatioN Gamingについて、経営者の視点からは「フォーブスのランキング TOP10に入ること」、運営者の視点からは「LoLでベスト8に入ること、グローバルで有名なタイトルでランクインすること」と豊富を述べて締めくくられました。

DetonatioN Gaming は、日本初の「フルタイム・給料制プロ e スポーツチーム」を始動させたことで一躍有名となり、2016 年3月には興行ビザ 基準省令3号を取得、eスポーツの地位を一層高められました。

現在、DetonatioN Gaming は 9 つのゲームタイトルで活動、日 本最多の国内外6つのプロリーグ に参加しています。



DetonatioN Gaming CEO 梅崎伸幸氏

4 名刺交換会

講演終了後は、木村・永田法律事務所 永田竜也先生、DetonatioN Gaming CEO 梅崎伸幸氏と会員による名刺交換会が行われました。

5 大阪eスポーツ研究会 今後の予定

● eスポーツ施設視察会+新年会

2020年1月15日(水)

第1部〔施設視察 15:00~17:00〕 会 場: EVOLVE (神戸六甲道)

参加費:施設利用料¥1,200(2時間利用)

第2部〔新年会 17:15~〕

会 場: 炭火わらやき屋 駅前 六甲道本店 参加費: コース+飲み放題 ¥5,000程度 ● 第4回 大阪eスポーツ研究会

2020年2月12日(水) 15:00~17:00 (テーマは、eスポーツ大会の運営について取り上げる 予定です。※変更の可能性あり。)

● その他、大会の開催を企画しています。

※順次、情報を公開させて頂きます。

